

年 頭 所 感

日 時 平成26年1月6日（月）9：00

職員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、御家族ともども、平成26年の輝かしい新春を、健やかに迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

年末から9連休と、例年に比べて長い休みでしたが、有意義に過ごされ、心身ともにリフレッシュされたことと思います。その一方で、業務の関係から、年末年始に勤務されました職員の皆様には、大変、御苦勞様でございました。

私は、27日、28日夜まで年末夜警の巡視を行なった後、休みに入り、年越しは、UDON 楽カウントダウン高松コンサートの会場で迎え、元旦の朝は、屋島の初日来迎式に参加しました。後は三箇日ゆっくりとさせていただき、そして、昨日は早朝から恒例の中央卸売市場の初市祈願祭が執り行われ、また、素晴らしい天気にも恵まれて消防出初め式も無事挙行されたところであります。

その意味では、非常に良い雰囲気新しい年のスタートが切れたものと思います。

今年の干支は、「午年（^{うまどし}うまどし）」でございます。「午」は、十二支の7番目で、草木の成長が極限を過ぎ、衰えの兆しを見せ始めた状態を表しているとも言われております。正午が一日の真ん中12時をさすように中間点、折り返し点で物事が最も盛んなとき、とも言えます。一方で、動物では、馬に例えられますが、馬は、人との付き合いが古い動物で、家畜・労働力としてとても役に立つ生き物であり、また、戦の時には機動力として軍馬は絶対不可欠なものでございます。干支のウマに倣って、物事の頂点にあるがごとく、また天かける馬の如く、前途洋々、勢いある年となりますよう願っております。

さて、我が国の経済状況は、いわゆるアベノミクスの効果で円安、株高が定着してきており、回復基調にあります。年末年始の小売業や観光地もかなり活況を呈したよ

うであり、先行きも明るさが見え始めております。ただし、地方や中小はまだまだ好景気を実感できず、この4月には消費税率の5%から8%への引き上げが予定されており、景気の中折れを心配する声もあります。これに対して先月、政府は経済対策として、5兆5千億円の国費投入も決めています。内閣府などに勤めております私の友人の年賀状などでは、「今年はアベノミクスの効果を全国津々浦々に」という政府関係者の意気込みが感じられました。是非ともそう願いたいものであります。

また、一昨日の新聞に、総務省が地方中枢拠点都市制度を創設し、周辺自治体との間で成長戦略を策定、実施するための費用として交付税を加算するという方針が出ていました。さらに、政府が中心市街地活性化法に基づく新たな支援策も検討しているという記事もありました。これらの詳細な内容は現時点では不明ですが、本市は既に定住自立圏の中心市であり、2期に渡って中心市街地活性化計画を策定しており、いずれの制度も対象となることはほぼ間違いなく、このような国のまちづくり支援策は大いに歓迎するところであります。その上で、国の具体的な制度設計が本市の現状、進むべき方向に合致し、真に有効なものとなるように今後国に働きかけながら、進めてまいりたいと思います。

このような状況の下、本市では、今年、第五次総合計画の最終の実施計画となる、第四期まちづくり戦略計画が始まります。私のマニフェストの実質最終年ともなる年であり、今述べた国の新しい支援策なども適宜取り込みながら、この戦略計画に掲げる重点取組事業を着実に推進することが何よりも肝要であります。

重点取組み事業の柱となるのは、私が「持続可能性の先に灯す希望」と位置づけている4つのテーマです。一つは「多核連携型コンパクト・エコシティ」、一つは「コミュニティの再生」、一つは「創造都市」、一つは「地域包括ケアの実現」です。それぞれ、将来のヴィジョン、在り方をしっかりと見据えながら、今、必要とされる事業を着実に推進してまいりたいと存じます。

今年は、昭和9年に我が国最初の国立公園として瀬戸内海国立公園が指定されてから80周年という記念すべき年です。指定日である3月16日には、屋島や小豆島、

鷺羽山で80周年記念事業のキックオフイベントが、開催されますし、7月には環境省主催の記念式典が本市で開催される予定です。屋島活性化キャンペーンや県と連携してサンポートで開催する香川ウォータフロントフェスティバルなど関連事業も盛りだくさんに予定されています。

また、10月末には、第4回日仏自治体交流会議が本市で開催されます。日本とフランスの姉妹都市提携を結んでいる自治体の市長、副市長など幹部が集まり、地方都市の経済、文化、都市開発の在り方などについて議論を交わす本格的な国際会議です。

更に、民間主導のイベントでは、この3月に3回目の開催となる高松国際ピアノコンクールがあります。今回も全世界から約240名の応募があり、厳正な審査で選ばれた40名の若手ピアニストが高松に集結し、最終審査に臨みます。この世界の音楽ファンに高松ブランドを売り込む最適のイベントを本市としても全面的に支援をし、街全体での歓迎ムードを盛り上げて成功に導いて行きたいと思えます。

その他、2年前に開催され盛況だった瀬戸内生活工芸祭が9月に玉藻公園、女木島を会場として開催されますし、高松盆栽をPRするイベントやフランスの団体と共同しての創作サーカスのイベント、街なかで展開される音楽や大道芸のイベントも引き続き開催される予定です。

そしてスポーツでは、今年は何と言ってもサッカーが盛り上がりそうです。先月入替戦に勝利し、念願のJ2入りを果たしたカマタマーレ讃岐のいよいよJリーグでの戦いが3月から始まります。そして、オリンピックを凌ぐ世界最大のスポーツイベントとも言われるサッカーワールドカップが6月から7月にかけての1ヶ月間、ブラジルで行なわれます。その他のスポーツでは、バスケットBJリーグの高松ファイブアローズが昨日、一昨日のホーム2連戦で連勝をし、順位も西地区上位に浮上しています。「こいつあ春から縁起が良いわい」という感じですか。サッカー、バスケット、更には野球、アイスホッケーと本市を拠点とする「おらがチーム」が存在するというのは有難いことであり、今年もこれらチームを応援し、スポーツ振興を図りながら地域全体の活気に結びつけて行ければ、と思っています。

最後に、昨年末は、本市職員が窃盗容疑で逮捕されるなど、市民の信頼を失う、誠に恥ずべき事態となりました。今年は、何としても信頼回復の年にしなくてはなりません。どうか皆さんには、コンプライアンスの徹底に努めるとともに、公務員としての自覚を持ち、市民の皆様の信頼回復に向けて、取り組んでいただきたいと思います。基本は、地方公務員法第30条に掲げるサービスの根本基準であります。「すべて職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。」です。これを各職場において、全職員がしっかりと認識していただくよう、徹底を図っていただきたいと思います。

この公務員としての「自覚」に加えて、常に「笑顔」と「挨拶」を心がけていただき、市民から信頼され、真に市民に役に立つ所としての市役所になっていただきたい、と存じます。

終わりになりますが、今年一年が、高松市にとりまして、また、職員皆様方にとりまして、御家族ともども、健やかで実り多き年となりますことを心から祈念申しあげまして、年頭の挨拶といたします。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。